

## 平成18年度 第4回帯広市総合計画策定審議会 議事要領

1. 日 時 平成19年2月28日(水) 15:00~

2. 場 所 市役所本庁舎10階第5B会議室

### 3. 議事概要

報告事項 (1) 次期総合計画策定に向けた職員先行プロジェクト  
(21FPT)の結果について

次期総合計画策定に向けた職員先行プロジェクトの説明について

#### 質問・意見

循環型社会の形成について

【委員】例えばゴミ問題など、将来の目標値を設定し、そこに向かうには具体的にどう  
いうことをするかといった提案が19年度に市民に提案されてくると考えていいのか。

【プロジェクト】中長期的にはあるということ。例えば、地球温暖化だと将来地球の平均  
気温をプラス2 くらいに抑える必要がある。今の考え方だと到底無理であるので、50%  
カットされたものを想定し、そこからバックキャストしてやっていくという考え方も  
必要である。

【会長】環境省では、環境負荷がどのくらいの二酸化炭素の負荷を行っているかを面積  
で求める指標もある。日本は負荷が多い。帯広版などをつくる視点もあればよい。既存の  
データ分析も抽象的であり、例を出す時も、具体的に考えやすい指標づくりも必要と考  
える。

自治体経営について

【委員】組織が横断的な連携ができないことがよくある。連携、コーディネーターなど  
調整が大切。

【事務局】次年度から、組織機構改革もあり、横断的に取り組める体制づくりをすすめて  
いきたいと考えている。

【会長】市と市民との間の課題認識に隔たりがある。市民とのコミュニケーションが重  
要である。

社会基盤の有効活用について

【委員】エスコとは何の略か。

【プロジェクト】エネルギー・サービス・カンパニーの略である。

【委員】各チームの提案は最終的に次期総計に取り入れていくのか。

【事務局】今回の提案は、職員が検討したものであり、策定の際の参考にしたいと思っている。

【会長】次期総合計画を市民とともに作っていくためには、委員もこうした提言を受け止めるだけでなく、提案をすることも必要。市職員以上に意識を持って取り組む必要がある。

#### 報告事項 (2) まちづくり基本条例について

##### まちづくり基本条例についての説明

#### 質問・意見

【委員】出資団体、指定管理者の情報は公開されているのか。

【事務局】ホームページで閲覧できる。

【会長】見直し期間が5年を超えない期間となっているが、長すぎないか。

【事務局】必ずしも5年間という期間に縛られるものではなく、場合によっては3年、4年で見直しということもありうる。

#### 報告事項 (3) 次期総合計画の考え方について

##### (4) 今後のスケジュールについて

##### 次期総合計画策定の考え方、今後のスケジュールについて説明

#### 質問・意見

【委員】審議会委員の拡充とあるが、専門性など、選考の具体的基準はあるのか。

【事務局】現時点では具体的に定めていない。専門性を求める部分と広く一般公募する部分の両方を考えている。

【委員】市民アンケートを行うとあるが、アンケートの内容については、審議会に示されるのか。

【事務局】実施前に案をお示ししたい。

【委員】市民意見を聴取するパブリックコメント制度は現在の総合計画策定の際にも取り入れられているのか。

【事務局】現在の第5期総合計画策定時にはパブリックコメント制度がなかったことから実施していないが、平成17年度からの後期推進計画においては、実施している。

【会長】次期総合計画で初めてパブリックコメントを行うということだが、ただ聞くだけではなく、意見がどの様に取り扱われたか明確にして説明することが重要。

【事務局】パブリックコメントのほか、コミセン、インターネットや広報などを通し、幅広く市民意見を聴取したい。積極的な情報提供が市民協働には欠かせないものであると認識している。

【委員】計画策定の考え方に成果重視とあるが、数値目標は時代背景などとともに変化する可能性もあり、10年間の数値目標は非常に難しい。計画策定にあたっての数値目標については、十分な論議が必要である。

【事務局】まちづくりの指標は行政だけで達成できるものではなく、指標に加えて市民と行政の役割分担の視点が入ってくる。市民ワークショップなども活用しながら、指標項目、目標数値、役割分担の3つの視点で十分に論議を重ねていきたい。

【会長】数値目標が達成できないのは、市のせいだということではなく、計画づくりに参加する我々にも責任がある。市民も参加し、考えていかなければならない。

【委員】数値目標のあり方、計画上の取り扱いについては十分な論議が必要。

以上。